

News Release

国際復興開発銀行が発行する 「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について

J A 共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 村山美彦）は、世界銀行グループの一機関である国際復興開発銀行（以下、I B R D）が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド（以下、本債券）」に90百万ユーロ（約155億円）の投資を行いましたので、お知らせいたします。

債券名	サステナブル・ディベロップメント・ボンド
発行体	国際復興開発銀行（I B R D）
発行額	90百万ユーロ（約155億円）
償還期間	7年

本債券は、I B R Dのサステナブル・ディベロップメント・ボンド・フレームワーク*に基づく取組みとなります。本債券で調達された資金は、農業インフラ・灌漑の整備などを通じた気候変動に対する環境的レジリエンス強化を目的として、途上国における自然災害リスク軽減への取組みに関するプロジェクト等に充てられます。

※当該フレームワークの詳細については「世界銀行サステナブル・ディベロップメント・ボンドフレームワーク」をご確認ください。

<https://thedocs.worldbank.org/en/doc/fc7d6c4c502bdbfd6df9cf4eb5375724-0340022021/original/World-Bank-IBRD-Sustainable-Development-Bond-Framework-Japanese.pdf>

<参考>貢献が想定される主なSDGs目標



J A 共済連は、農業と地域社会の持続的発展に貢献するとともに、地域社会を構成する一員としての社会的役割を果たしていくため、資金運用における責任投資を進めてまいります。

以 上

《 I B R Dについて》

1944年に世界銀行グループの中で最初に設立された世界最大の国際開発金融機関です。米国ワシントンに拠点を置き、現在、189カ国が加盟しています。「極度の貧困の撲滅」や「繁栄の共有促進」といった世界銀行グループの2大目標達成に向けて、中所得国および信用力のある低所得国に対し、融資・保証・リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービス等を提供しています。また、地域及び世界規模の開発課題への取組みを主導する役割も果たしています。

これまで持続可能な開発プロジェクト及びプログラムへの融資資金を調達するために、70年以上にわたり国際資本市場で債券（通称：世銀債）を発行してきました。世銀債は、同機関の支援対象となる加盟国で展開する「環境」と「社会」の両面に配慮した持続可能な開発プロジェクトやプログラムへの融資等を通じてSDGsの達成を促進しています。

《 I B R Dの関連プロジェクトの紹介》

～ジョージアの気候変動対策としての農地管理改善・環境的レジリエンス強化プロジェクト～

ジョージアでは総人口の約41%が農村部に住んでおり、その大多数が生計の一部を農業に依存しています。しかし、過去20年間で自然災害が増加しており、土壌侵食や洪水が農業生産高を減少させる脅威となっています。持続可能な農業の発展のためには、灌漑を含めた土地管理などの改善が重要とされており、本プロジェクトでは、灌漑や排水システムの供給改善などを通じて、ジョージアにおける気候変動に対するレジリエンス強化を支援しています。



© World Bank



（注）上記はIBRDのプロジェクトの一例であり、今回投資する債券による資金の活用を上記プロジェクトまたはその分野に限定するものではありません。